

り設置の事に確定したりと云ふ、尙ほ同所にては動力用として小瀬川水力にては不足を感ずる爲め曩に廣島市か出願中の瀧山川（六千キロ）水力を利用せんとし相當の補償を提供して譲受けする事に決したるものゝ如し、而して製鐵所に要する資本金は二百三十萬圓にして滿州本溪湖の鑛石を使用し木炭銑を製し其一ヶ年の製産力は一萬五千噸（一日平均二十噸の豫定）にて六月下旬より工事に着手し竣工迄に約六箇月は掛る筈なれば愈々事業に着手するは本年末にして之れに要する木炭の量は五百萬貫を要し中國、四國、九州又は樺太廳の直營に屬する木材乾留工場を譲受け同所に於て製造供給をなすに至るへしと。

### ●鞍山站鐵鑛經營

製鐵所設置決定 鞍山站鐵鑛は

奉天省民政司于冲漢氏及滿鐵奉天公所員鎌田彌吉氏の名義にて採掘權を得たるが採掘したる鐵鑛を供給すべき製鐵所に關する成案決定せざる爲め未だ準備に着手する運ひに至らざるも採掘方法は極めて簡易にて露出せる鑛石を採掘する迄のことに別抗道を穿つ必要もなく唯軌道を敷設すれば足れるなり従つて資金も十五萬圓内外にて日支合辦組織とし日本側は無論滿鐵より出資するものにて支那側は本溪湖煤鐵公司の如く支那政府か直接關係するものにあらず于冲漢氏個人として出資するものにて總辦は日支人各一名宛となすことに内定し居れり猶製鐵所を設置すべきや又採掘せる鑛石を内地に輸送して製鐵すべきやに就ては多少問題

となり居りしも何分にも含鐵量少きを以て之を内地に輸送するは割に合はざるを以て愈製鐵所を設置することに決定せり而して斯る成分少き鑛石を以て製鐵をなすには勢ひ大規模のものとなさざるへからず其資本金も少くも一千萬圓以上の巨額なるべきか去る十七日の總會に於て大體決定し急速著手の運ひに至るべき模様なり。

右につき中村滿鐵總裁の談に依れば滿鐵に於て企畫せる製鐵所は日支合辦にて組織する目論見なるか翻つて滿洲鐵山の現況を見るに廣大なる大鐵山ありと雖も遺憾ながら其鐵分含有量甚だ少く爲めに鐵鑛の儘搬出し内地等にて製鐵しても引合はざるべく左ればとて滿洲に大製鐵所を設立し之を精鍊するは得策なるも製產品の輸出先きに付いては餘程研究を要することにて殊に内地に輸入せんか忽ち二重に課税せらるゝ等の關係あり此の仕向け地の目算立たざる間は大規模のものを起し難きを以て先づ試驗的に小規模のもの設立し仕向け地、精鍊上の經濟等を試験し愈確實に經營し得るの見込立たる後徐々に其規模を擴張せん方針なり云々。

### ●新製鐵所設立協議

中日實業會社の發企に係る製鐵所設

立問題は既記の如く倉知、尾崎、郷、和田の四氏特別委員となりて實行方法に一段の研究を重ねる事となりたるか其結果本月五日午前十時より各委員の會合を催し特別委員より諸般の報告をなしたる後大體の實行方法として

一、中日を離れたる獨立の會社となす事。

一、資本額は株式募集の關係上五千萬圓程度となす事。

一、製鐵所の建設地は九州に選ぶ事。

一、製鐵能力は二百五十噸の銻鐵爐二個を建設し一箇年三十四萬五噸の銻石を使用して十五萬噸内外の銻鐵を製出し得る設備となす事

に略決定したるか輸入品並に資本に對する課税の免除等政府に對する交渉事項及實行に關する精細の事項は未だ決定せず是等は今後の會合に於て何分の決定を見るへしと。

●久原製鋼所(戸畑) 大阪久原鑛業會社は戰亂以來鋼鐵の

欠乏著るしさに鑑み一大製鋼所設立計畫を樹立し昨冬工場地選定に着手し戸畑鑄物會社鮎川專務同山田支配人主として其斡旋の任に當りたるか地理及ひ用水の關係上戸畑を以て最好地と認め近郊踏査の結果地下一間下は自然のコンクリートなる岩石層なるに加へ名古屋崎内灣若松築港埋立豫定地か海陸連絡地點として頗る適當せる等の條件を發見し一氣呵成に敷地十五萬坪の買收を終り一方名古屋崎外灣海面六十萬坪埋立出願を試み又同内灣若松築港會社埋立十一萬坪竣成に際し之か買收契約を結び用水は小倉市紫川に水利權を獲以て鞘ヶ谷に貯水池二十七萬坪の準備を圖り斯くて太宰政夫氏創立事務主任に九大教授君島工學博士設計囑託に何れも就任目下敷地實測に着手せるか九月頃完了を待ち第一期計畫に入る豫定にて泥田より名古屋崎に亘る八萬坪の地に對し起工すへしと尙其内容は未だ詳細發表するを得ざるも資本金千萬圓より三千萬圓内外を投じ製鋼十五萬

噸の外諸機械製作に従ひ尙海陸連絡の必要より名古屋崎内灣埋立豫定地に船入場及び五千噸型汽船繫船壁を築設せんとの議あり若し之か實行不可能なりとせば小倉に築港し海上運輸の便に供せん計畫なりと傳へられ居れり。

●安川製鐵所(黑崎) 安川敬一郎松本健次郎兩氏企畫の同所は昨今鐵材の暴騰に因し開始せられたるものに非ずして實に一昨年來の計畫なるが時恰も支那動亂に會し或は松本氏の病氣に妨げられ漸く昨冬支那鑛山の踏査を終り計畫決定を見しものにて黑崎海岸十三萬坪を買收終了し他の準備に着手せり尙海運が戰亂中なると鐵材又暴騰の最中とて機械の購入容易ならず製鐵着手は恐らく二年後なるべく海上施設は製鐵所三期擴張地海岸より二百間の浚渫を行ひ製鐵所鑛石航路より分岐航路を掘穿せは可ならんとのこと又工場用水は紫川を久原に先取せられたるも目下着目中の堀川にして解決せは却て利便多かるへさかと云へり。

●栗木鐵山會社和解 一時廢鑛の悲境にまで陥れる岩手縣栗木鐵山株式會社は歐洲戰亂勃發後鐵價の暴騰に伴ひ漸く活況に向はんとしつゝありしか之を見たる一部株主は遽に之か乗取策を講し、遂に五月二十八日木村仁太郎外五十餘名の計畫により盛岡市に臨時株主總會を招集し舊重役全部を解任し代ふるに自派代表者を選任することを決議せり之が爲め舊重役より決議無效の訴へを提起し爾來盛岡地方裁判所に係争紛擾中なりしか今回漸く相互妥協の結果和解契